

iUとINFINIT8、グローバル IP ビジネス研究機関 「GIPI : Global IP Institute」を共同設立

～世界規模での知的財産（IP）ビジネスの実践知を集積し、産学連携で次世代のIPイノベーションを創出～

iU（情報経営イノベーション専門職大学、東京都墨田区、学長：中村 伊知哉、<https://www.i-u.ac.jp>）、MID Lab.（Media Innovation Design Lab.、松村太郎研究室）、INFINIT8 株式会社（東京都渋谷区、代表取締役社長：小林弘和、以下「INFINIT8」）は、本日、グローバル IP ビジネスを専門とする研究機関「GIPI : Global IP Institute」を共同で設立したことをお知らせいたします。

GIPI は、iU のアカデミックリソースと企業の実務ノウハウを統合させることで、日本発の IP を世界市場へと展開・活用するための実践知の集積と発信を目指します。

グローバル IP、IP ビジネスに関連した情報集積と、一次情報の取材とアーカイブ、イベントの情報等を発信し、日本におけるグローバル IP 研究のハブ、拠点としてその役割を果たして参ります。

GIPI の公式ウェブサイトは 2025 年 7 月 18 日（金）に公開予定です。

◆GIPI 公式ウェブサイト

URL: <https://gipi.tokyo/>

※アクセスとブックマークをお願いいたします。

■ 概要

- 対象領域：アニメ・ゲーム・マンガ・音楽・映画・デザイン・スポーツ・e スポーツ・テクノロジー関連の IP など
- 研究方法：ケーススタディ、定量分析、フィールドワーク、国際比較調査
- 特徴：
 - 産学共同運営による最新ビジネス知の即時フィードバック
 - 日本語・英語バイリンガルでの成果発信
 - 学生・研究者・企業が参加するオープンイノベーション形式
- 研究連携：
 - iU の連携企業のうち、IP ビジネス、コンテンツ・メディアビジネスに関連する連携企業
 - iU の PPP（Pop Power Project）と、その参画クリエイター、参画企業

■ 目的

- ベストプラクティスの構築：日本発 IP の海外展開モデルを体系化
- 人材育成：グローバル IP ビジネスを牽引できる実践的プロフェッショナルを輩出
- 政策提言：政府・自治体・業界団体へのエビデンスベースの提言
- 産業活性化：スタートアップから大企業まで、IP 活用による新規事業創出を支援

■ 具体的な展開

- ・ エコシステム形成：大学・企業・行政をまたぐ IP ビジネス共同体の創出
- ・ 経済効果：国内外ライセンス収入・M&A・投資を含む年間数百億円規模の波及
- ・ ブランド価値向上：日本のクリエイティブ産業が持つ文化的影響力と経済価値を同時に拡大
- ・ 社会課題解決：地方創生や文化多様性の維持に寄与する IP 活用モデルを提案

■ 活動内容と情報公開スケジュール

内容	取り組み	情報公開予定時期
情報アーカイブ	国内外 IP 事例・市場データベースの構築	2025年9月公開
キーパーソンインタビュー	資金調達・法務・マーケティング等の第一人者	随時配信
イベント	GIPI フォーラム（年2回）／ワークショップ（隔月）	第1回フォーラム：2025年12月
白書制作	『Global IP Business White Paper 2026』	2026年3月発行

■ コメント

中村伊知哉（iU学長）

「日本のコンテンツやテクノロジーが持つ IP の潜在力は計り知れません。GIPI はiUのポップカルチャー研究の取り組み「PPP」（ポップパワープロジェクト）と連携し、その可能性を世界へ解き放つための実験場として機能します。産学連携で“知の流通”を加速し、学生にもリアルなビジネスの最前線を体験してもらいたいと期待しています。」

小林弘和（INFINIT8 代表取締役社長）

「INFINIT8は、IP企業とのIPを愛する人々を先進技術によって支援するために生まれた企業です。GIPIプロジェクトでは、IP業界における最先端領域に携わっているという弊社の強みと、そこから得られる知見を、より多くのIP業界の皆様還元していければと考えています。」

松村太郎（iU教授／GIPI 研究主幹）

「私は長年、ジャーナリズムとアカデミアの両輪でビジネス動向を追ってきました。GIPI では日本の自動車産業を上回る市場規模となったIPビジネスについて、“発見・分析・実装”のサイクルを高速で回し、またキーパーソンの経験と作品、言葉をアーカイブしていく手法で、グローバルIP分野の現在と未来を描く取り組みをしていきたいと考えています。同時に、具体的なソリューションと人材を社会に送り出します。」

■ 連携企業 INIFINIT8

株式会社 INIFINIT8（2023 年設立／東京都渋谷区、代表取締役 小林弘和）は、「IP が社会に生み出す幸せの量を増やす」をミッションに、次世代 IP ビジネス基盤の研究開発に取り組むスタートアップです。GIPI プロジェクトでは、共同発起人として、IP 業界の最先端領域の知見の蓄積と分析等を担います。

公式サイト：<https://inifinit8.info/>

■ 連絡先

iU 情報経営イノベーション専門職大学

MID: Media Innovation Design Lab.（松村太郎研究室 GIPI 事務局）

E-mail: info@gipi.tokyo

URL: <https://gipi.tokyo/>

<大学概要>

■大学・学部学科名

- ・大学名：「情報経営イノベーション専門職大学」 ※愛称「iU（あいゆー）」
- ・学部名：情報経営イノベーション学部 情報経営イノベーション学科

起業率全国1位（iU独自調査）、起業数は全国8位（経済産業省調べ）の、在学中に学生が起業に挑戦する大学。ICT・ビジネス・グローバルな視点について学び、新しい時代を創る人材を育成。さらに必修科目として約4か月間のインターシップも経験し、将来の起業や就職を見据えたキャリアビジョンの具現化につなげている。

iUホームページ：<https://www.i-u.ac.jp/>

■学長

中村伊知哉（なかむらいちや）



京都大学研究員、東京大学研究員、デジタル政策財団理事長、CiP協議会理事長、国際公共経済学会会長、日本eスポーツ連合特別顧問、理化学研究所コーディネーターなどを兼務。

1984年、ロックバンド「少年ナイフ」のディレクターを経て郵政省入省。MITメディアラボ客員教授、スタンフォード日本センター研究所長、慶應義塾大学教授を経て、2020年4月よりiU学長。

内閣官房、内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省などの参与・委員を歴任。

著書に『新版 超ヒマ社会をつくる—アフターコロナはネコの時代—』（ヨシモトブックス）、『コンテンツと国家戦略』（角川EPUB選書）など多数。

1961年生まれ。京都大学経済学部卒、大阪大学博士課程単位取得退学。博士（政策・メディア）。

情報と経営でイノベーションを起こす人材を育成する、デジタルとビジネスの国際大学。

AI、ソーシャル、Web3、eスポーツ、デザイン思考、メディア、VR/AR、マーケティング、オタク、メタバース、セキュリティ……。

プロジェクト授業、4ヶ月インターン、そして恐らく世界初の「全員起業」。

全員が起業に成功すれば就職率がゼロになるので、目標就職率ゼロ。起業数45以上、起業増加率日本一。

だが多くは失敗する。失敗から学ぶ「失敗大学」。コンピテンシー：行動偏差値がトップ級。結果、2期生の就職率99.1%。

連携企業700社以上、客員教員1,000人以上。学生より教授のほうが多い、プロのコミュニティの中で学ぶ大学。

研究所「B Lab」をベースとして地域DX、超校歌、超人スポーツ、ニューロダイバーシティ等100以上のプロジェクトが走っている。

2025年度には、eスポーツの学習・活動・インターン・起業を行う正課「eスポーツ」も設ける。

入学式、卒業式などイベントは学生が企画・運営。自分でつくる大学。デジタル1st。日本初のPC・ネットあり入試を導入。

理念は「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する」。

それ、おもしろい？ それ、あたらしい？

■所在地

・墨田キャンパス：東京都墨田区文花1-18-13

・サテライトオフィス：東京都港区海岸1-7-1 東京ポートシティ竹芝 オフィスタワー8階



左：墨田キャンパス
右：サテライトオフィス

・学生数：655名 ・基幹教員数：30名

■教育理念

「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する。」

■学びの特色

「ICT」「ビジネス」「グローバル」この3つが学びの柱

①組織管理やマーケティング、会計・財務などを学ぶ【ビジネス】

ビジネスの仕組みを理解し、マーケティング、マネジメント、財務、法務などの専門知識を学習

さらに、必修科目「イノベーションプロジェクト」を通じて、課題発見からビジネスプランの立案までを繰り返し学ぶことで、実践力を身に付ける

②アプリ設計・開発、データサイエンスなどの技術を修得する【ICT】

急速に進化する世界で自身のアイデアを形にし、世界へ発信する力となるデジタル技術を身に付ける

プログラミングやデータ処理、ネットワークといった基礎技術から、AI、データサイエンスなどの最新領域をカバーするカリキュラムを展開

③国際感覚や語学力を自分のものにする【グローバル】

卒業後に現場で生きるビジネス英語を中心に、異文化理解、国際情報やグローバルビジネスを学び、ボーダーレスな共創・活躍を実現するための多角的な国際感覚を養い、英語でのビジネスピッチが行えるまでを学び、実社会で活躍できる人材を育成

現場で学び、起業で挑む。600時間の実習×全員起業プログラム

・臨地実務実習とプロジェクト実践演習：1人600時間の臨地実務実習、実在するサービスの事業展開やリアルな社会課題の解決などに取り組むプロジェクト実践演習を実施

・全員起業：全員が在学中に起業に挑戦。必修科目「イノベーションプロジェクト」を通じてリアルなビジネスの立ち上げを経験し、社会で即戦力となる力を育成。希望者には事業化支援・資金提供・登記サポートも完備。

■育成人材像

- ・ICTを活用する様々な業界・団体において課題を解決し、新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことのできる人材
- ・ICTを活用し新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する起業家

【本リリースに関するお問い合わせ先】

iU 情報経営イノベーション専門職大学 TEL : 03-5655-1555 E-mail : info@i-u.ac.jp